

扱い	テレビ・ラジオ・新聞 制限なし
解禁	なし

【記者発表資料】

平成24年 1月26日

第2回 雲仙・普賢岳における 「明日の土砂災害対策を考える会」の開催

雲仙・普賢岳では平成2年11月17日の噴火開始以後、火砕流災害により甚大な災害が発生しました。雲仙復興事務所は、雲仙・普賢岳の噴火による土砂災害の被害から地域の安全を確保するために、平成5年度から火山砂防事業を実施しています。

雲仙復興事務所で開催してきた雲仙・普賢岳火山砂防事業に対するご意見を伺うとともに、火山噴火や地震等による災害を後世に伝承していくべき内容に関しても集約し、地域防災力の向上に貢献するため、地元有識者、学識経験者などから構成される「雲仙・普賢岳における『明日の土砂災害対策を考える会』」を下記の通り開催いたします。

なお、本会議は平成23年11月18日に開催された第1回雲仙・普賢岳における『明日の土砂災害対策を考える会』の内容をふまえ、水無川における土石流対策、眉山第5溪周辺における防災対策、砂防指定地利活用の方策、溶岩ドームの崩壊対策、災害伝承の方策等について意見を伺います。

【委員会概要】

日時：平成24年 1月30日（月）13：00～15：00

場所：雲仙岳災害記念館1Fセミナー室

発表記者クラブ
・島原記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所
(0957) 64-4171 (代表)
技術副所長 田中 育穂 (内204)
調査・品質確保課長 前田 昭浩 (内351)
ホームページアドレス：<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>

第2回 雲仙・普賢岳における
「明日の土砂災害対策を考える会」

議事次第

日時 平成24年1月30日（月）13:00～15:00

場所 災害記念館 1F セミナー室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

- (1) 第1回「明日の土砂災害対策を考える会」の結果概要と対応方針
- (2) 水無川における土石流対策
- (3) 眉山第5溪周辺における災害履歴の調査
- (4) 砂防指定地利活用
- (5) 溶岩ドームの崩壊対策
- (6) 災害伝承の方策

4. 閉 会

第2回 雲仙・普賢岳における
「明日の土砂災害対策を考える会」

委員名簿

※敬称略，五十音順

所 属 ・ 役 職	氏 名
雲仙百年の森づくりの会事務局長 NPO 法人島原ボランティア協議会理事長	旭 芳郎
島原市杉谷地区町内会連絡協議会会長	上田 泉
九州大学理学部名誉教授	太田 一也
NPO法人島原普賢会 理事長	大町 辰朗
(株)ケーブルテレビ島原、(株) FM島原 Chief Operating Officer	清水 真守
長崎大学工学部名誉教授	高橋 和雄
(株)テレビ長崎報道部部長	槌田 禎子
島原市安中地区町内会連絡協議会会長	前田 勝義
島原温泉観光協会会長	水元 敦実
島原商工会議所会頭	満井 敏隆
ふるさと希少植物保存会代表	山田 スミコ

事務局：平成23年度 雲仙岳災害伝承防災教育検討業務砂防広報センター
・建設技術コンサルタンツ設計共同体